

- もんじゅの保守管理不備の発覚等を受け、平成25年5月28日、
文部科学大臣を本部長とした「日本原子力研究開発機構改革本部」を設置。
- 外部有識者による議論を踏まえて平成25年8月8日に、以下の3つの柱からなる**改革の基本的方向性を取りまとめ**。

- ・ 安全を最優先とした業務運営の考え方
- ・ 業務の重点化
- ・ もんじゅの運転管理体制の抜本改革

- その中で文部科学省では以下の5つの課題をあげて対応を実施。

＜5つの課題＞

- ① 効率化優先から安全性優先の業務運営への中期目標の抜本的見直し。
- ② 中期目標に沿った業務運営がなされているか検証。
- ③ きめ細やかな実態把握と必要な予算の確保。
- ④ 職員の士気向上のために原子力機構の業務の政策的位置づけの明確化。
- ⑤ 原子力機構の業務の重点化・効率化に向け、組織を抜本的に改編。

＜対応策＞

- ① 平成27年4月1日に安全性を重視した新たな中長期目標を設定。
- ② 毎年度法人の業務を評価。平成27年7月に前中期計画期間中の業務評価を実施。
- ③ 「もんじゅ」の安全確保に必要な予算を確保。
- ④ もんじゅ等を位置づけたエネルギー基本計画を平成26年4月11日に閣議決定。
④ 文部科学省のもんじゅ研究計画作業部会において、平成25年9月に「もんじゅ研究計画」を取りまとめ。
- ⑤ 一部の業務を他の法人に移管することとし、「量子科学技術研究開発機構法案」を第189回通常国会に提出。平成27年7月に成立。

「もんじゅ」を含めたその他の改革の取組

さらに、

- 改革を指揮する理事長を任命。
 - ・平成25年6月、理事長に松浦祥次郎元原子力安全委員会委員長を任命。
松浦理事長は、平成25年10月に齋藤伸三元原子力委員会委員長代理を「もんじゅ」の所長に、その後平成26年4月に副理事長に任命。
 - ・松浦理事長の任期満了により平成27年4月に児玉敏雄元三菱重工業株式会社副社長を理事長に任命。
- 平成25年10月1日、安全管理や危機管理機能の監査を行う監事を民間から2名任命。
 - ・仲川滋 元東日本旅客鉄道株式会社
 - ・小長谷公一 元あずさ監査法人
- 原子力機構は、平成25年10月1日から平成26年9月30日まで日本原子力研究開発機構改革に取り組んだ。

「もんじゅ」に限っては以下を実施。

- 平成25年7月、保守管理や品質保証の体制構築に向けて、電力会社の知識とノウハウを導入するため、電事連に対して支援を要請。
- 平成25年11月18日に文部科学副大臣を本部長とする「もんじゅ改革推進本部」を設置。
- 平成26年4月1日から現地に審議官級の職員と技術系職員を追加で駐在させ、直接指導。
- 原子力機構は、平成25年10月1日から平成27年3月31日まで「もんじゅ」集中改革に取り組んだ。